

浄泉寺報

第8号
2017年
春彼岸



2017年 修正会

生と死を考える (前編)

浄泉寺住職 望月廣三

もう数十年も昔のことになりましたが、門徒さんに百四歳まで長生きされた婆さんがいました。

百歳を迎えた年のことです。秋のお彼岸のお参りに行きますと、お仏壇の脇の床の間に、県知事から贈られた百歳を祝う感謝状と記念品の金盃とが置かれています。

した。それを見て、傍にいる婆さんに言いました。

「百歳になられたんですね。おめでとうございます」

すると婆さんが困惑したような戸惑いの表情を見せて、こう返事されたものです。

「お住ッさんやから、正直に言いますけど、ほんまはなにも嬉しいんです」

「嬉しいない？」私はビックリしました。百歳を迎えてどうして嬉しくないのか。どんな辛い問題が潜んでいるのか、と思い、

「なんで、ですか？」と問いました。

そして私はその返答を聞いて、運命の非情さと、それをしっかりと認識されている彼女の聡明さとに深い感慨を覚えたことでした。

その深い認識はこういうものでした。

彼女には八人の子どもがおりました。ところが百歳を迎えたとき、八人の子どもは八十歳になる末娘一人になっていたのです。このきびしい現実を思い知らされた彼女が私に告げた言葉が、「長生きしすぎましたから」でした。

何の気負いもなく、さらりと言われたのです。この言葉は誰しも口にする、いわばありふれた科白（せりふ）かもしれませんが、しかしこの現実認識には、実に深いダルマ（釈迦の教え）が秘められているのです。

(次号につづく)



浄泉寺住職 (ペンネーム：望月廣次郎) の新刊小説『役僧たちの反乱』

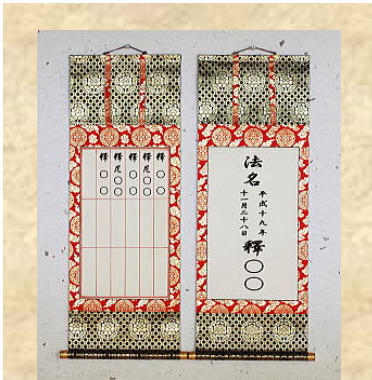
人間を貶める〈差別〉はすでに、教義の使徒たちの意識を占めるまでにはびこっていた。宗門のただ中にいる住持でなければ描きだせるはずのない、稀にも稀なヒューマン小説。金時鐘氏推薦！

【単行本】200 頁
【出版社】作品社
【定 価】本体 1600 円 (税別)
【発売日】2016 年 9 月 3 日

全国の主要書店他、Amazon.co.jp 等インターネットショップでもお求めいただけます。

お内仏（仏壇）に座る ⑥ ～ 法名 について～

このコーナーでは、皆さんのご家庭にあるお内仏（仏壇）についてのアレコレを連載します。



法名軸・・・亡くなった方の法名は写真のようにお軸にしてお内仏（仏壇）左右側面に掛けたり、過去帳にします。詳しくは、お寺までお問い合わせください。

「愚禿 釋 親鸞」、これは私たち真宗大谷派の宗祖・親鸞聖人が生前から名のられたお名前です。「あれ？法名って亡くなってからの名前ちゃうの？」そう思われた方もおられるかと思います。

浄土真宗では、戒名ではなく「法名」といい、仏法を聞いて生きていきますという自らの名のりという意味があり、必ず「釋」の字がつけます。釋の字はつまり、お釈迦さまの「釋」で仏弟子という意味があります。女性の場合は「釋尼○○」となり、サンスクリット語の女性を表す語尾の変化がその由来といわれています。浄泉寺で葬儀を行う場合は、必ず法名をおつけしますが、法名は亡くなった方のお名前ということではなく、仏様の教えを聞いて生きていくということの名のりですから、ぜひ思い立った時に帰敬式（おかみそり）を受けていただき、悩み苦しみ多き「今」こそ仏法を聞いて

生きていくということが大切なのではないでしょうか。法名を名のる、それは私が新たな名と歩みを賜るもう一つの誕生日です。勝った負けた、損か得か、我が我が、そんな毎日ですが、それを超えた世界（浄土）から私の今の姿を聞いていく、それが仏弟子の歩みなのです。

なお、帰敬式（おかみそり）は京都の真宗本廟（東本願寺）で基本的に毎日受式することができますし、浄泉寺でも行うことができます。いずれの場合も詳しくはお寺までお問い合わせください。

（浄泉寺若院・釋亜世）

平成29年(2017年)年忌表

ご法事（年忌法要）は、亡き人をご縁に、仏さまの教えを今生きる私たちが聞かせていただく大切な機会です。

一周忌	平成28年(2016年)亡
三回忌	平成27年(2015年)亡
七回忌	平成23年(2011年)亡
十三回忌	平成17年(2005年)亡
十七回忌	平成13年(2001年)亡
二十五回忌	平成5年(1993年)亡
三十三回忌	昭和60年(1985年)亡
五十回忌	昭和43年(1968年)亡

お寺からのお知らせ

● 春の彼岸会 ●

三月二十三日(木) 午後二時

於：浄泉寺本堂 お勤め・住職法話

● 同朋会 ●

浄泉寺では、毎月同朋会を開催しています。どなたでもお気軽にご参加いただけます。詳細な日程はお寺までお問い合わせください。

<発行元・問い合わせ>

真宗大谷派 楠林山 浄泉寺

〒656-0026 洲本市栄町4-3-43 電話 0799-22-4798